





消防出初式

No.96

# 12月定例会(11月29日~12月21日)

○5人の意	議員が市政を問	AR	D2~5
一〇の 八〇)商	食貝か川以びに	:1,,)	$PZ\sim$ 5

○条例の制定・改正・・・・・ P7

○3月定例会日程案 · · · · · P12

○決算審査······ P8~11

# いちき串木野市政のここが知りたい!!



※一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、 所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。

12月定例会の一般質問では、市政について5人の議員が10項目の質問をしました。 質問・答弁の内容(3~5ページ) は、議員本人が要約しています。

- ※新型コロナウイルス・インフルエンザの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を 通常45分 ⇒ 30分に短縮しています。(市当局からの答弁時間は含みません。)
- ●一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。 動画の視聴はこちらから ⇒



#### 12月8日(金)

東 育代

議員 (P3)

1. 子育て支援について

た か ぎ しょうじ

### 高木 章次 議員 (P3)

- 1. 川内原発について
- 2. 有機農業拡大と学校給食無償化について
- 3. 公園等の管理、整備について

よしどめ りょうぞう

### 吉留 良三 議員 (P4)

1. 少子化対策と学校統廃合について

# **江口 祥子** 議員 (P4)

- 1. 飼い主のいない猫対策について
- 2. いきいきタクシーの降車場所の拡大について

西田 憲智

議員 (P5)

- 1. 道路行政について
- 2. 児童生徒の安全対策について
- 3. 生徒指導の対応について



#### 議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会等は原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。 (12月定例会の傍聴は、延べ14人でした。)※本会議中継は、こちらからご覧いただけます。⇒





# 東 育代 議員



[映像配信ページ]

#### 放課後児童クラブ事業 子育て支援策として必要な事業

書 老朽化する施設での運営に苦慮している児童クラブがあるが、施設の改修等について市の考えを伺う。

適正な修繕を行いながら現施設で運営していただく。今後、老朽化が進み利用困難な状況が見込まれる場合は、学校の空き教室等の活用も含め検討する。

問施設運営側と市との定期的な 連絡会の開催はできないか。

今年度中に、運営に関する説明や意見交換を兼ねた会議を実施し、連携を図っていきたい。

門市内にあるクラブ間の連絡協 議会が定期的に開催されるよう仕組み作りが必要では。

連絡協議会は任意の団体として設置されるため、設置に向けた話があった場合は、他の自治体の状況等について情報提供する。

#### 不登校児童生徒への支援策 校内支援センター設置を検討

間本市の不登校児童生徒数の増 は、国や県と比較してどうか。 また、対前年度比について伺う。

国・県と比較すると、増加率 は低いが、増加傾向にある。 令和5年度10月末の対前年度比、 小学校23.8%増、中学校4.8%増。

門 校内に支援員を配置したサポートルームの整備が必要では。

生徒数の多い串中に専属の支援員を配置した校内支援センターを検討し、それぞれの子どもにあった支援につなげていきたい。

#### 誰でも楽しめる図書館整備 既存施設の再配置を検討

市内二つの図書館を、子育て世代へ対応した子ども図書館と従来の図書館として、機能を分けてはどうか。

子ども図書館としての実証実験を実施し、誰でも楽しめる図書館運営を研究していく。機能を二つに分けるのではなく、図書館に併設する既存施設の再配置を含め検討していく。



【その他】 ファミリーサポートセンターにつ いて質問しました。



#### 高木 章次 議員



.......

[映像配信ページ

#### 運転延長の本市住民の賛否確認は 県議会で議論。一旦結論は出た

本年11月1日に規制委員会は 運転延長を認可したが、基準 地震動が大きくなった。九電は運転 を止めずに安全対策工事を行うた め、完成は<del>2023</del>2030年1月までの スケジュールを提出。安全最優先で 運転を止めて工事を行うべきでは ないか。

学県への意見書においても、安 全対策工事を早期に進めるよう申し上げている。

間様々な課題がある。運転延 長への県民の賛否は確認されていない。パブコメや公聴会、ア ンケート、本市でもやれるわけです。 どうですか。

答 県議会で、県民投票条例について議論され、結論が出ている。

#### 学校給食無償化と有機はセットで 課題が解消されれば、検討

同 仮に有機米を本市で生産できるようになれば、有機でない米との差額分を市が負担することで、学校給食に有機米を導入できるのではないか。

本市で有機米の生産が開始され、品質や安全性の確保が担保された場合には、学校給食への導入や価格差に対する補助等について、改めて検討する必要がある。

門 差額分を負担して導入する方 向だと認識していいか。

国においても、みどりの食料システム戦略等で有機を増やす方向にある。市においても課題はあるが、方向性としてはその方針の下で。

#### 公園の管理・整備が十分ではない 除草適宜、長崎鼻公園再生準備中

門市内の公園は、草ぼうぼうに なって初めて草刈りをするとい う状態ではないか。

長崎鼻公園・小水林間広場は年5回、大規模除草。観音ヶ池市民の森は、桜の時期に合わせて年3回、大規模除草し、適宜除草管理を行っている。

長崎鼻公園再生事業について は、市民から改めてアイデアを 募集してはどうか。

令和2年度に市民アンケートを実施している。現在、PPP手法による実施要綱及び要求事項等の準備中。民間が資金調達を行うのではなく、市が国庫補助金や起債で自ら資金を調達する方式を検討しており、コストや事業期間の短縮を図りたい。



#### 吉留 良三 議員



#### 少子化対策と学校再編 教育環境の確保が最優先

■
■
学校再編と少子化対策。相 **戸**反する政策の成果をどう出し ていくのか。

🤚 まずは子どもたちに望ましい ■教育環境を確保していくこと が最優先である。

**■**■ 統廃合で影響を受ける5小 ■」学校校区、中山間地域や集 落の維持策を考えているのか。

🖥 子どもたちの教育環境を最重 点課題とし、地域の活性化は 別の時点で考えなければならない。

「小学校は絆」と言われるが、 転出抑制・移住促進対策は、

学校再編を超える対策となるのか。

✓ 小学校が地域の拠点であるこ 📋 とは理解しながらも、子ども たちの教育環境という観点からは、 学校再編が良いと考える。



#### 小規模校のメリットは 関係性が強まり個別に対応できる

「適正規模」とは、大人や行 **戸**政にとっての適正規模では ないかとの指摘もあるが、特認校 で学びたい子など様々おり、他校 との合同授業や合同部活など多 様な学びに挑戦できる時代になっ た。個々に寄り添える小規模校の メリットもあるのではないか。

✓ 人前で主張する機会がある、 💷 個別に対応できるなどメリッ トはあるが、今からの子どもたちは 生き抜く力をつけるため、集団の中 で様々な影響を受けながら自分を 高めていく必要がある。

== 近年の遠隔教育システムの進 **戸**歩は学校間の交流を容易にし、 同一活動を同時に進められる。小 規模校でのデメリット緩和になるの ではないか。

──旭・荒川・川上小でのICT活 用により、目的意識を持った 発表や協働的な学びが充実してき たが、価値観の違う人と折り合いを 付けるなど、経験の充実には課題 がある。

= 遠隔合同授業で全国モデル **ロ**になっている徳之島などの実 践例を研究・検討して方向性を出 すべきでは。

🚜 人口が減少する中、何が子ど ■ もにとってよりよい教育なの か総合的に考え、今後の在籍児童 数の推移を見据えた教育環境を 十分に検討し、進めていきたい。



江口 祥子 議員



[映像配信ページ]

#### 動物愛護に係る条例 令和6年度施行に向けて進める

問動物愛護に係る条例制定の 取組状況と制定時期について。

😿 新たに制定する条例は、行 政・市民・飼い主の責務を明 確にすることをはじめ、飼い主のい ない猫(野良猫)への対策等も含 めて規定したい。なお、令和6年度 施行を目途に作業を進めている。

■■地域猫活動のボランティアや **戸**人材を募集し、市民との共同 で人と動物が共生できる社会を目 指せないか。

😾 広報・啓発を通して、市民へ 動物愛護や地域猫活動に対

する理解を深めてもらい、条例制 定にあわせて、助成・支援等を含め た地域猫活動を推進する要綱を策 定し、ボランティア団体の募集を検 討する。

問 ふるさと納税に動物愛護枠 を設けて、避妊・去勢費用の 支援に充てることはできないか。

🚜 地域猫活動への助成支援事 💷 業を対象とした、使途明示 型の「クラウドファンディング型 ふるさと納税」の活用について、 関係課と調整を進める。

クラウドファンディング型ふるさと納税とは…自治体が抱える問題解決のため、寄附金の使い道をより明確にして寄附金を募集すること

#### 交通弱者を守るための取組 乗降場所の見直しを検討

いきいきタクシーについて、 **尚**利用者のニーズに柔軟に対 応し、サービス向上につなげるため、 乗車・降車区域を見直しては。

🚒 乗降場所の設定を行うには、 鹿児島運輸支局、公共交通 事業所、乗降場所となる施設等と の協議・了承や、市の公共交通会 議において総合的な審議が必要と なる。今後、利用者の実情に合っ た、使いやすい交通手段となるよ う検討していきたい。

≡■ 路線・ダイヤを決めないデマ **ロ**ンド型の乗合タクシーの導入 を検討する考えはないか。

<del>/ 「デ</del>マンド型タクシー等の新 **ロ**しいモビリティサービスの 活用や、他自治体の事例等を参考 に、本市の特性に合った事業の推 進を図っていきたい。





# 西田 憲智 議員



「映像配信ページ

#### <mark>市長の掲げる歩きたくなる道</mark> 人にとって優しい価値のある空間

問歩道を維持・管理するため、 抜本的な整備が必要では。

歩行部分の幅員を確保した上で、街路樹の樹種選定、撤去等を計画していく。

門市単独での整備は財政的に厳しいが、災害拠点の補完路として防災・安全交付金を活用した無電柱化整備を検討できないか。

一 市単独では、防災時の効果が 発揮できないことから、国道・

県道・市道を一緒に計画していきたい。

問 西薩中核工業団地内への企業 立地により交通も増えている。 交通実態に合った幹線道路の整備 を進め、住宅街と工業団地が共存共 栄できる対策が必要では。

現状把握を行い、西薩中核工 業団地企業連絡協議会へ制 限速度の遵守をお願いしていく。

本市の公式LINEを活用し、 市民から道路や公園等の損傷 箇所を受け付ける「自治体向け通報ソ リューション」を導入しては。

今和6年度の運用開始に向け、 関係機関と調整していく。

#### 児童生徒の安全対策 関係機関と連携し安全を確保

門地域に開かれた学校として、学校を活用できることは評価できる一方で、警備体制や施設整備状況は十分か。

答防犯監視システムの導入は中学校1校。個々の学校の状況に応じて検討し、安心安全を第一に考えた教育環境を整備する。

門地域では声かけ事案を懸念して、子どもとのコミュニケーションが希薄になっている。地域一体となった挨拶運動推進のため、協力体制を強化してはどうか。

挨拶の役割や重要性を認識していただくためにも、市全体で再度、総ぐるみの挨拶運動を展開したい。

# スクールサポーター制度の導入 関係機関と熟議を図り検討

門休日や場所を問わない生徒 指導対応により、担任の先生 は通常業務である授業に支障が生 じている。第三者の介入により課題 解決に向けて取り組む考えは。

地域や警察など各関係機関と熟議を図り、協働して、地域が一体となったサポーター制度を構築できるよう検討していく。

# 12 月定例会の表決結果

提案された議案について、議長を除く15人の議員による採決を行いました。

■ 全会一致で可決・承認された議案等

#### 【条例】

- ・行政組織条例の一部改正
- ・市役所の位置を定める条例の一部改正
- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・串木野都市計画事業麓土地区画整理事業に伴う関係条例の整理 に関する条例の制定
- ・市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ・市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正
- ・市職員の給与に関する条例の一部改正
- ・手数料条例の一部改正

#### 【令和4年度決算関係】

- · 一般会計
- •特別会計
- ・企業会計(剰余金の処分を含む)

#### 【補正予算】

- ·一般会計 (第6号・7号)
- ・介護保険特別会計(第2号)
- ・水道事業会計 (第1号・2号)

#### 【その他】

- ・新たに生じた土地の確認
- ・字の区域の変更

#### ■ 替否が分かれた議案

○は賛成、●は反対、※は欠席

\*議長職のため表決に参加しない

議案番号	(議員氏名)	田畑 和彦	西田憲智	高木 章次	江口祥子	吉留良三	松崎幹夫	田中 和矢	中村 敏彦	大六野一美	濵 田 尚	東育代	竹之内 勉	下迫田良信	原口 政敏	福田 清宏	中里 純人
請願第3号	鹿児島県知事に対して、川内原発の運転延長については、原発から30キロ圏自治体の意見を十分に尊重し同意を得ることを求める請願		•	0	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	*

# 12 月定例会補正予算

市立小中学校の学校給食費無償化 水道料金の基本料金免除 など

7億1,726万1,000円の追加計上

《一般会計予算総額185億2,439万3,000円に》

#### 一般会計

- ■■■■歳入の主なもの■■■■
- ●普通交付税 2億2,366万円
- ●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3 億 7,871 万円
- ■■■■歳出の主なもの■■■■
- ●企業の誘致促進及び育成補助

3.000万円

西薩中核工業団地の既存工場において、製品の 品質安定化や増産のために建物改修等を実施したセンターフーズ株式会社へ設備投資促進補助金を交付 します。

●戸籍情報システム等改修 1,049 万円 戸籍や住民票等の氏名に「フリガナ」を記載する ため、システム改修を行います。

#### ●畜産業への支援 1,858 万円

肉用子牛販売価格の低迷、エネルギー・物価高騰などの影響を受けている畜産業を支援します。

- ◆優良肉用子牛生産推進緊急支援 631 万円
- ◆粗飼料価格高騰対策緊急支援 1,007 万円
- ◆配合飼料価格高騰対策緊急支援 220 万円

#### ●串木野・甑島航路活性化推進

116 万円

「フェリーニューこしき」ドック期間中の代替船による貨物輸送に係る経費の一部を補助します。

#### ●教師用指導書等購入 1,124 万円

令和6年度からの小学校教科書改訂に伴い、指導者用デジタル教科書を購入します。

#### ●開校準備委員会設置経費 23万円

中学校再編を円滑に進め、開校に向けた検討を 行うため、再編対象の4中学校の校長及び教頭、 串木野地域の小中学校の保護者、地域住民代表な ど30人以内で組織する「開校準備委員会」を設置 します。

門 中学校再編について、理解を得られたとの認識 でよいか。

再編説明会や意見交換会を実施し、概ね理解を 得られたと認識する。今後は円滑な開校に向けて、 協議を進めたい。

#### ●市議会議員・市長・副市長・教育長・ 市職員の人件費 2,967万円

特別職報酬等審議会の答申、人事院勧告に伴い、 期末手当の支給率等の引上げにより、人件費を追加 します。

#### ●市立小中学校の学校給食費無償化

3,357 万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、4か月分(令和6年1月・2月・4月・5月請求分)の学校給食費を無償化します。

(3月は調整月のため、請求はありません。)

#### 特別会計

#### 水道事業会計

3.125 万円

(令和6年度対象額4,475万円は新年度予算で対応) エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者の負担を軽減するため、水道料金の基本料金を6か月分免除します。

免除に伴う給水収益の減収分については、一般会計からの補助金で補填します。

#### ※対象期間

奇数月検針地区 1月請求分~6月請求分 偶数月検針地区 2月請求分~7月請求分

# 条例の制定・改正・その他

#### 行政組織の一部改正

効率的な行政運営を行うため、令和6年4月1日 から組織機構を見直します。

また、令和6年3月1日以降は、戸籍届出(出生届・ 婚姻届・死亡届など)に限り、すべて串木野庁舎で の受付となります。

※市来庁舎での戸籍届出の受付を終了します。

ただし、戸籍謄本等の証明書発行は今までどおりです。

#### 【組織機構見直しの主なもの】

現在	令和6年4月以降
経営改革課	課を廃止⇒業務を総務課、 財政課、企画政策課へ移管
企画政策課 エネルギー・企業立地係	課を新設⇒「産業立地課」 ※洋上風力発電等の新エネル ギー施策や企業誘致等の推進 に取り組む
シティセールス課 スポーツ交流係及び 国体推進係	係を廃止⇒業務を社会教 育課へ統合
市来支所	支所市民課⇒市来庁舎 市民総合窓口係へ変更

ままま 新設する産業立地課の体制は。

洋上風力発電、企業誘致、新工業団地の造成な ど本市の重要施策の実現に向けて取り組むため、 3名から4名体制を考えている。

プレスポーツ部門を係ではなく、課として設置すべきではないか。

国体が終了したことを踏まえ、単独の課を設置するのではなく、スポーツ部門を社会教育課へ統合し、係員を増員することで運営ができると判断した。

意見 移住や子育ての観点から、スポーツ行政を進めるということを表に出すことが大切ではないか。また、スポーツの大事さ、スポーツに関する市民の思いなどを考えれば、市民スポーツ課を再度立ち上げるべきである。

# 市議会議員及び市長・副市長・教育長の報酬等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会の答申を尊重し、期末手当の支給割合を改定します。

○年間3.15月 ⇒ 3.25月(0.1月分引上げ)

議会議員 16人 536,000円の追加(期末手当) 特別職 3人 281,000円の追加 (期末手当、共済費)

#### 市職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴い、給料表等を改正します。

- ○職員給料表 ⇒ 平均 1.1%の引上げ (若年層に重点を置き改定)
- ○期末勤勉手当の支給割合を改定年間 4.4 月 ⇒ 4.5 月(0.1 月分引上げ)

一般職(再任用職員を含む)312人29,672,000円の追加(給料、職員手当等、共済費)

#### 手数料条例の一部改正

改正戸籍法が令和6年3月1日から施行され、本籍地以外の市町村での戸籍証明書の取得が可能になる広域交付や、オンライン上で行政手続を行う際に利用可能な戸籍電子証明書提供用識別符号等の発行業務が開始されます。

これに伴い、戸籍電子証明書提供用識別符号等 の発行に係る手数料を条例で定めます。

発行する識別符号	手数料
戸籍電子証明書提供用識別符号	1件につき 400 円
除籍電子証明書提供用識別符号	1件につき 700 円

※マイナポータルで電子証明書提供用識別符号を取得した場合は、手数料が無料になります。

# 決算審査

9月21日~9月25日(3日間)

決算審査特別委員会では、令和4年度の予算の使い方が適正であったか、効果や効率はどうだったかなど、執行機関に質問し審査を行いました。



### 令和4年度会計決算状況

	会 計 名	歳入総額		歳出総額
一般会計		182億 317万	1,419 円	174 億 7,734 万 6,548 円
特別会計		84 億 1,549万	3,738 円	81億7,296万1,083円
	国民健康保険	41億 450万	941 円	40億5,049万 4,749円
内	地方卸売市場事業	13万	9,719 円	13万 9,719円
訳	介護保険	38 億 193 万	354 円	36億1,425万8,391円
	後期高齢者医療	5億 892万	2,724 円	5億 806万 8,224円
	計	266 億 1,866 万	5,157円	256 億 5,030 万 7,631 円

公営企業会計		収入総額	支出総額			
水道事業	収益的	6億9,540万1,781円	6億1,764万4,387円			
小坦 <del>事未</del>	資本的	2億 8,136万 9,832円	5億6,041万2,070円			
工业送車業	収益的	5億 3,117万 8,643円	4億9,780万6,633円			
下水道事業	資本的	1億 5,659万 2,250円	3億6,812万 87円			

#### いちき串木野市の財政力指数等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	説明
財政力指数	0.38	0.39	0.40	財政力を示す指数で、普通交付税の算定に 用いた基準財政収入額を基準財政需要額で 割って得た数値の過去3年間の平均値。指数 が高いほど財政に余裕がある。
経常収支比率	91.9%	90.2%	92.4%	財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費、 扶助費、公債費等の経常的経費に、税や普 通交付税等の経常的な一般財源が、どの程 度充当されているかを示す比率で、低いほど 弾力性が大きい。
地方債現在高	178 億円	195 億円	210 億円	市の借金
基金現在高	83 億円	73 億円	67 億円	市の貯金

#### 一般会計:歳入の主なもの

#### 市税

収入済額は30億5,086万4,055円。令和3年度より2,005万4,699円の増。

#### 地方交付税

普通交付税は 48 億 1,648 万 9,000 円、特別交付税は 9 億 5,688 万 1,000 円で臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額は 58 億 8,150 万 7,000 円。令和 3 年度より 4 億 6,352 万 3,000 円の減。

#### 寄 附 金

ふるさと納税寄附金として全国から 12 万 5,075 件、16 億 1,192 万 110 円の寄附申込があった。令 和 3 年度より 4,974 万 1,230 円の減。









#### 一般会計:歳出の主なもの

#### 総 務 費

◇冠嶽芸術文化村構想推進事業	925 万円
◇洋上風力発電調査研究事業	3,956 万円
◇IT企業誘致事業	1,362 万円
◇地区まちづくり協議会運営補助金	2,549 万円

#### 選 挙 費

◇参議院議員通常選挙費	1,625 万円
◇県議会議員選挙費 (無投票)	242 万円

#### 民 生 費

◇電力ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

	1億 9,795 万円
◇障害者等介護給付費	4 億 4,972 万円
◇老人保護措置費	1億6,084万円
◇児童手当給付費	3 億 6,342 万円
◇保育施設等給付費	9億 776万円
◇児童発達支援給付費	1億 9,961 万円
◇児童扶養手当給付費	1億3,566万円
◇生活保護扶助費	4億 208万円

#### 衛生費

◇予防接種事業 6,078 万円

◇子ども医療費助成金 7,005 万円

◇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

1億 63万円

◇危険廃屋等解体撤去工事補助金 750万円

◇環境センター・最終処分場施設運営維持管理費

3億9,180万円

#### 農林水産業費

◇中山間地域等直接支払交付金事業 1,856 万円◇活動火山周辺地域防災営農対策事業

1億1,772万円



生福果樹生産組合の ハウス施設 (4 生産者 10 棟)

◇資源循環型畜産確立対策事業 4億5,499万円

◇鳥獣被害対策実践事業補助金 1,139 万円◇有害鳥獣捕獲事業補助金 1,410 万円

 イノシシ
 シカ
 タヌキ アナグマ
 カラス
 サル
 計

 捕獲頭数
 1,213
 560
 470
 23
 4
 2,270

◇燃油価格高騰緊急対策事業補助金 3,664 万円

◇県営事業負担金(漁港整備事業) 5,279万円

#### 商工費

◇食のまち応援 LINE クーポン業務委託料

5,990 万円

◇タクシー・運転代行・貸切バス事業者緊急支援金 440万円

◇笑顔あふれるプレミアム付商品券事業

1億8,986万円

◇原油価格・物価高騰対策緊急支援給付金事業

3,754 万円

◇冠岳観光資源活用PR事業

873 万円

◇薩摩藩英国留学生記念館駐車場整備事業

1,958 万円



◇ふるさと納税返礼品 (送料を含む)6 億 6,088 万円 ◇総合体育館の床・照明改修工事 4,235 万円

#### 土 木 費

◇道路維持工事費(道路 23 路線・橋梁 2 橋)※島平野元線、東海大橋など 2 億 4,682 万円

◇道路新設改良工事(道路5路線)

※島内松原線など 6,129 万円

◇河川維持工事費

※酔之尾川護岸改修など 2,349 万円

◇麓土地区画整理事業 5,304 万円

◇住宅リフォーム事業補助金(106件) 941万円

#### 消 防 費

◇高規格救急自動車

2,695 万円



◇消防ポンプ自動車(湊分団)

2,387 万円

◇防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業 (防災倉庫・油圧ショベル・運搬用ダンプなど)

2,822 万円



#### 教 育 費

◇学校ICT機器等借上事業

※パソコン、校内LAN 7,495万円

◇串木野・市来農芸高等学校支援対策事業補助金

752 万円

◇特別支援教育支援員配置事業(16人)2,081万円

◇校務支援システム導入事業 2.401 万円

◇市来小学校屋上フェンス設置事業 396 万円

市来小・中学校及び市来幼稚園の児童生徒・園児に対する津波発生時の緊急避難場所として、市来小学校舎屋上に一時避難場所を確保するため、転落防止のための屋上フェンスを整備しました。

◇串木野小学校空調設備改修事業 1,140万円

◇串木野中学校ブロック塀改修工事 272 万円

◇串木野・市来中学校空調設置工事 269 万円

◇地域学校協働活動事業 225 万円

◇郷土芸能保存会運営補助金(15 団体) 212 万円

◇郷土史料収集事業 214 万円

> 郷土史料集 4 「戦争の記憶編」





◇週末支援事業 (放課後子ども教室・青松塾 )183 万円

◇体験活動支援事業

117 万円

◇学校給食食材価格高騰対策事業補助金680万円

#### 災害復旧費

◇農業施設災害復旧費 407 万円

◇林業施設災害復旧費 302 万円

◇道路河川等災害復旧費 957 万円

#### 特別会計・公営企業会計

#### 国民健康保険

保険税の徴収率は、現年度分が98.3%で、令和3年度と同率。

#### 地方卸売市場事業

歳入は一般会計からの繰入金で、歳出は消防設備点検委託料、損害保険料、電気代等。

令和5年3月末で設置条例を廃止したことに伴い、本会計も令和4年度で廃止。

#### 介護保険

保険料の徴収率は、99.1%で、令和3年度と同率。

#### 後期高齢者医療

保険料の徴収率は、100.1%。

※収入額に還付未済額が含まれるため100%を超えています。

#### 水道事業

事業収益は、予算額と比較して783万円の増。 主な建設事業は道路改良工事に伴う老朽管の布設 替工事と耐震化事業に伴う八房、陣ヶ迫地区等にお ける配水管布設替工事。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者の負担を軽減するため、11月から3月までのうち4か月分の基本料金を免除。免除額については一般会計からの補助金で補填。

#### 下水道事業

事業収益は、予算額と比較して 224 万円の増。 主な建設事業は串木野クリーンセンター汚泥処理施 設の改築更新工事。

### 委員からの質疑・意見(主なもの)

#### ふるさと納税寄附金

前年度と比較し、寄附件数で8.1%、寄附金額で3.0%の減。返礼品は肉類、加工品、まぐろ・水産物、ハム製品、菓子類が上位を占めています。

# 間前年度より寄附件数、寄附額が減少した原因と今後の対応は。

答人気の返礼品に競合する商品がでてきており、寄 附額が減少した。どのような返礼品が注目されているのか調査し、パートナー企業と一緒に、皆さんに気 に入っていただける返礼品の開発に努め、いただいた寄附金の活用策についてもPRしたい。

#### 認知症高齢者等見守り事業

徘徊見守りSOSネットワークの登録者で希望された方に、小型タグ(みまもりタグ)を無償貸与し、 月額使用料 220 円を市が負担。(登録者数 10 人)

#### 問みまもりタグが普及しない要因は。

管市内に約2,600人程度の認知症の方がいると推定する。認知症であるから必ず徘徊するということではなく、いろいろな症状の方がいるため、必要とする方に登録していただいていると考えている。みまもりタグを活用するには、周りの方のアプリ登録が必要となるため、今後も定期的に広報し、登録者を増やしたい。

#### 消防団員

#### 間消防団員の充足率と定数見直しについて

答充足率は80.8%で、消防団員数は年々減少しており、定数見直しや組織の再編を検討する時期にきている。

#### 雇用対策事業

高校生のための企業説明会や女性就業応援セミナーを開催。商工会議所青年部との共催事業として、企業面談会、企業見学バスツアーを開催。

#### 問高校生のための企業説明会の成果は。

一番 中木野高校、市来農芸高校、神村学園専修学校の生徒56名が参加し、串木野高校の生徒2名が地元企業に採用された。

(意 見)学校を卒業した生徒さんが、地元に残って、 就職するということは、地元の地域活性化に大きく 貢献することになる。引き続き、一人でも多くの方が 市内で就職できるように取り組んでもらいたい。

#### 有害鳥獣捕獲事業

野生鳥獣が農作物等に被害を与える場合にその 被害を防止するため、イノシシ、シカ等の有害鳥獣 の捕獲事業を推進しています。

# 間サルによる被害が増えているが、何か対策はないか。

答以前と比べて、犬を使っての追い上げが減少して おり、犬に代わる対策として、ドローンを使った方法 を検討している。県内のドローン事業者と協議し、効 果等を研究していきたい。

#### 学校教育専門員配置事業

#### 問学校教育専門員配置事業における成果と課題 は、

管市教育支援センターや子どもみらい課、福祉課等の関係機関と連携して情報収集し、児童生徒の状況を把握したうえで、支援や指導を行うことができた。個別最適な学びを提供するために、タブレットを効果的に活用し、学校の取組への指導により、不登校を未然に防止することが課題である。

#### ファミリーサポートセンター事業

保育所、幼稚園、学童保育などへの送り迎えや、 放課後の預かりなどの援助を依頼する会員と、援助 を提供する会員の橋渡しを行い、育児を支援する事 業。

#### 問利用者が少ない要因は。

管提供会員が少なく、支援を必要とする際のマッチングが難しかったことや、コロナ禍において他人との接触を避ける傾向にあったことが要因と考えている。令和5年度からは、ファミリーサポートセンターを子育て支援センターきらきらがある市来保健センターに移設し、利用申込から預かりまで一体的に行えるようにした。今後も定期的な講習会、交流会等を実施し、利用拡大に努めたい。

#### 市営住宅

間酔之尾東団地(定住促進住宅)の空家率が51.56%と高い状況にある。入居率を高める努力が必要では。

一部之尾東団地については、入居条件の緩和や法人への賃貸を検討するとともに、民間の集合住宅と公営住宅の将来的な需給バランスやニーズを見据えながら、今後の市営住宅のあり方について、全体的な方針を検討する。

### 令和6年第1回(3月) 定例会の日程(案)

第1回(3月)定例会を下記の日程で行います。 ※今後の状況により、変更になることもあります。

月日(曜日)	内容	
2月20日(火)	本会議(開会日・議案質疑)	
2月21日(水)	常任委員会(総務厚生委員会)	
2月22日(木)	常任委員会(産業教育委員会)	
3月 4日(月)	本会議(一般質問)	
3月 5日(火)	本云誐(一放貝问 <i>)</i> 	
3月 6日(水) 本会議(議案質疑)		
3月 7日(木)	常任委員会(総務厚生委員会)	
3月 8日(金)	常任委員会(産業教育委員会)	
3月13日(水)	予算審査特別委員会	
~18日(月)		
3月27日(水)	本会議(最終日)	

※時間はいずれも午前10時からです。

# 議員定数等調査特別委員会の設置について

本市の議員定数と報酬のあり方について、調査・研究を行うことを目的として、 委員8人で構成する「議員定数等調査特 別委員会」を設置しました。

(設置期間は、令和5年12月21日から令和6年12月31日まで。)

委員長 東育代 副委員長 中村敏彦

新安貝安 中刊敬尽 委員 西田憲智

西田憲智 ・ 大六野一美 濵田尚 ・ 下迫田良信 原口政敏 ・ 福田清宏

### 表紙写直募集!

次号の表紙写真を募集します。 応募期限は3月20日まで。 応募は こちらから



#### 議会の動き(令和5年11月~令和6年1月)

- 8日 鹿児島県市議会議長会臨時総会(東京都)
- 14日 議会運営委員会
- 16日 議員全員協議会

市議会臨時会

常任委員会(総務厚生・産業教育)

議会運営委員会

議会広報特別委員会

27日 議会運営委員会 29日 議員全員協議会

29日 議員全員協議会 本会議 (開会日・議案質疑)

#### ■1月 ■■■■■■■■■■■■■■■■■

4日 仕事始め・議員新年初顔合わせ

新春賀詞交歓会

16日 議会広報特別委員会

22日 鹿児島県市議会議長会臨時総会

(鹿児島市)

23 日 議会広報特別委員会

鹿児島県市議会議員研修会(鹿児島市)

25日 九州市議会議長会第4回理事会

(熊本県阿蘇市)

29日 議員と語る会(中央地区)

30日 大分県中津市議会行政視察受入れ

31日 青森県五所川原市議会行政視察受入れ

#### 

8日 一般質問

議会広報特別委員会

- 11 日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 12日 常任委員会(産業教育委員会)
- 14日 第3回衛生処理組合議会定例会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 議員全員協議会

本会議(最終日)

議員定数等調査特別委員会

議会広報特別委員会



編集後記 限られた紙面の中で、情報ニーズを捉えているか自問自答しながら、市民に親しまれる身近な広報

紙をめざして、表紙写真の募集など進化し続けております。これからも 議会だより・市議会ホームページを通して、市議会を身近に、活動を魅 力に感じてもらえるように新たなメンバーで受発信してまいります。最後 まで読んでいただきありがとうございました。次号もお楽しみに・・・

(西田 憲智)

#### 議会広報特別委員会

委員長 西田憲智 副委員長 東 育代 委 員 田畑和彦

ル 高木 章次

〃 江口 祥子

〃 福田 清宏